

第 23 回医学物理士実務講習会

ー リニアックビームデータ測定実習：検出器の原理と特性を知って使いこなそうー

一般財団法人 日本医学物理士会 理事長 福士政広

主催：一般財団法人 日本医学物理士会

共催：首都大学東京

協賛：ユーロメディテック株式会社

日本医学物理士会では、第 23 回医学物理士実務講習会を下記の通り開催致します。本講習会は少人数での講義と実習を通して、リニアックビームデータ測定に用いられる様々な検出器の原理と特性を理解し、検出器を使いこなせるようになること、また、取得したビームデータの検出器依存性とそれらが治療へ及ぼす影響について学んでいただくことを主旨としております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

注意：2017 年 1 月 5 日（木）より参加受付を開始致します。

- (1). 日時：2017 年 3 月 4 日（土）9:00～16:30
- (2). 場所：首都大学東京 荒川キャンパス 〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10
- (3). 参加対象者：医学物理士および医学物理士を目指している者
- (4). 募集人員：18 名
- (5). 受講料 日本医学物理士会会員*・準会員：15000 円 非会員：25000 円
* 日本医学物理学会会員（JSMP）ではございませんのでご注意ください。
- (6). プログラム：

8:40 – 8:55	受付
8:55 – 9:00	開会挨拶 日本医学物理士会会長 福士政広
9:00 – 9:45	(1) ビームデータ測定の意義とコミッショング 林直樹（藤田保健衛生大学）
9:55 – 10:40	(2) ビームデータ測定 ～機器の特性とピットフォール～ 秋野祐一（吹田徳州会病院）
10:50 – 11:35	(3) 実習内容説明 兒玉匠（埼玉県立がんセンター） 谷謙甫（ユーロメディテック社）
11:35 – 12:35	(4) 昼食
12:35 – 14:35	(5) 実習
14:35 – 15:30	(6) 解析
15:30 – 16:30	(7) ディスカッション